



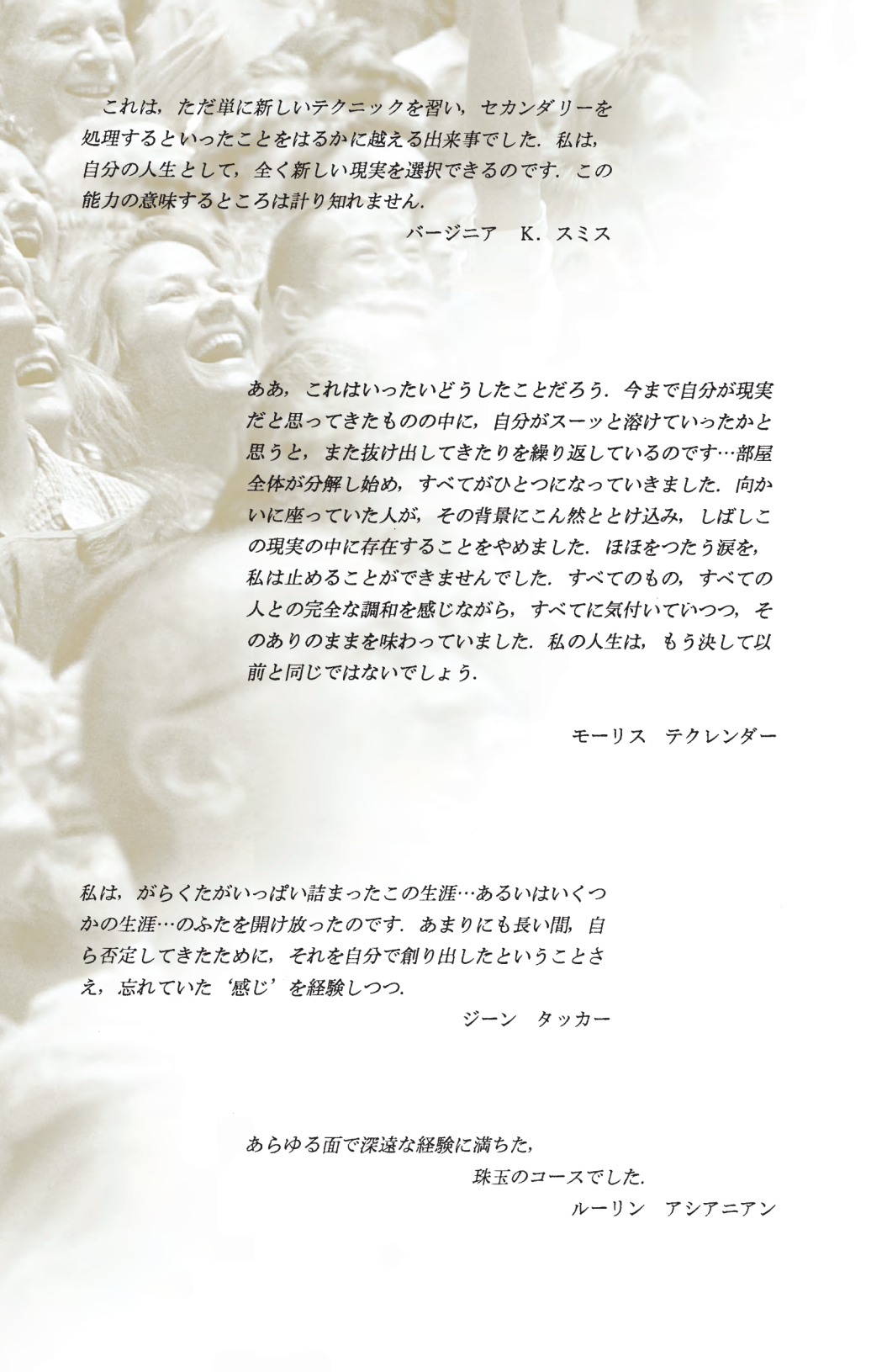
STAR'S EDGE INTERNATIONAL®



アバター®
マスター・コース



この冊子の中の写真はすべて実際のアバター・マスター・コースおよびアバターのイベントで撮影されたものです。写真に写っている人々は、コースの練習に取り組んでいる実際の受講生です。



これは、ただ単に新しいテクニックを習い、セカンダリーを処理するといったことをはるかに越える出来事でした。私は、自分の人生として、全く新しい現実を選択できるのです。この能力の意味するところは計り知れません。

バージニア K. スミス

ああ、これはいったいどうしたことだろう。今まで自分が現実だと思っていたものの中に、自分がスーッと溶けていったかと思うと、また抜け出てきたりを繰り返しているのです…部屋全体が分解し始め、すべてがひとつになっていきました。向かいに座っていた人が、その背景にこん然ととけ込み、しばしこの現実の中に存在することをやめました。ほほをつたう涙を、私は止めることができませんでした。すべてのもの、すべての人との完全な調和を感じながら、すべてに気付いていつつ、そのありのままを味わっていました。私の人生は、もう決して以前と同じではないでしょう。

モーリス テクレンダー

私は、がらくたがいっぱい詰まったこの生涯…あるいはいくつかの生涯…のふたを開け放ったのです。あまりにも長い間、自ら否定してきたために、それを自分で創り出したということさえ、忘れていた‘感じ’を経験しつつ。

ジーン タッカー

あらゆる面で深遠な経験に満ちた、

珠玉のコースでした。

ルーリン アシアニアン

ここでいったい 何が起きているのだろうか

マスターコースは、1988年12/1月号のアバタージャーナル誌に掲載されたハリー パルマーの手紙を通して初めて発表された。



“マスターコースの目的は、自分の人生で経験するすべてを創り出しているのは自分であるということ、他の人々がよく理解できるように導き、また自分の経験を自由に創り出せるように導くために、必要な技能を磨くことです。この愛に満ちた勧誘は、真のマスターの最も価値ある贈り物なのです。”

“アバターとしてのあなたの旅は終わりました。あんなに長い間探し回った生まれ故郷は、本当に甘美ですね。その遊園地を楽しんでください。あなたが必要なものは、もうこれ以上本当にならないのです。もしかすると、ええ、もしかするのですが、アバターの教材を世の中に紹介する仕事を、あなたも手助けしたくなるかもしれません。あなたが今知っていることをすべての人が知り、あなたが今持っている技能をすべての人が兼ね備えたら、世界はどのようになるだろうかと想像してみてください。”

皆、いろいろに 思い描いています



24年経つうちに、アバターのネットワークは世界中に拡がり、数万の人々の人生に直接的な影響を与えています。間接的に影響を受けた人はどのくらいいるでしょうか。それは推測するしかありません。おそらく集団意識の謎が完全に明らかになれば、すべての人が影響を受けるでしょう。

- ・“私がどうしてアバターコースを受けたのか、はっきりとはわかりません。直感的に、受けたら良いと感じたのです。わかりますか？”
- ・“アバターは、夢のなかで私のところにやってきました。まず人々が見え、それから再会という感じを強く持ったのです。”
- ・“ある霊能者のところへ行きました。トランス状態になりながら、彼女が私に、あなたは近い内にアバターをすることになると言いました。トランス状態からさめた彼女は私に、アバターって何ですかと尋ねたのです。”
- ・“私がすることになる何かがあるということが、私には常々わかっていました。ですからアバターが現れた時、私は全く驚きませんでした。それ以外のすべては、ただ暇つぶしにすぎなかったのです。”

“意識の歴史の中で、人々が創造の迷路を抜けて生の源へと向かうように案内することのできた人はほとんど存在しませんでした。”

“僧侶や聖なる人々の衣装を身にまとった者はたくさんいましたが、無知であったか、あるいはもっと悪いことに、巧妙に創られた理由のために人々を巧妙に創られた信念体系という脳道に逸れさせてしまっただけだったのです。それはふるさとからは遠く離れた悲しい盲目の袋小路です。”

3

- ・“アバターをする前の私は、この世の誰よりも徹底的に挫折した求道者でした。”
- ・“私はあるグルのもとで12年を過ごしました。来る日も、来る日も10時間働いたんです！ ある日、私は信念の向こう側を見ました。そして、仲間の弟子たちを見た時、私たちがただの安価な労働力に過ぎなかったのだと気付いたのです。”





私たちが今やっていることは 覚醒した地球文明を 創造することです

それはこの世が始まって以来の、知覚能力のある生命体の目標でありました。進化における、競争的な適者生存の段階は、その必要過程を終え、これからは理性的な協同的社会へと変わっていくことができるのです。アバターマスターたちの地球をとりまくネットワークは、この社会のいしずえです。スターズエッジインターナショナル社は、この個人のつながりであるネットワークの成長に伴う様々な事柄を見守り、管理処理する責任を持っています。

“あなた方は裏切りと虚偽の土地に踏み込んでいきます。
そこには大 ぼら吹きがマスターの何千倍もいるのです。”

“あなた方の理解は、巧妙な儀式で肥え太った専門家たちの眠りを襲う悪夢です。”

“あなた方は光を運ぶ使者です。”

“あなた方は真理についての真理を伝えます。”

“歓迎されることを期待してはなりません。多くの場合彼らは、自分たちには希望がないということを主張する機会としてだけ、あなた方の真理をうかがってみるのです。”

“彼らをそのままに熟しきらない実として愛しなさい。”



アバターはその価値を数知れず自ずから証明してきています。人は覚醒という拮がった意識の状態を成就するために、何十年も修行を積まなければならないとか、死ななければならないとか、ある人、あるいはある信条を無条件に信じなければならないということはないのです。そして、そのための方法を整理してまとめ、一つのコースとして提供することがその成就を損なうとか価値を落とすということもないのです。

アバターは意識の進化における一つの画期的な跳躍であり、未来の人間社会の構造に深遠な影響を及ぼすものです。過去にはこの世界にいる覚醒した人を片手で数えることができましたが、今ではその数が数千にのぼります。すでに広く普及されつつあるアバターは、人類が今たどりつつある自己破壊的進路に対し一つの代案を提示しています。あなたが違いを創り出すことができるのです。

“知るべきことをきちんと会得しましょう。そして、それらを安心して吟味できるように教えなさい。一旦吟味することができれば、奴隷すらも自分の生き方を変える理由を見つけだし、意識における愛の統合へと引き込まれていくことでしょう……長い間待ち望んでいた脱皮です。……偉大なる救いです。”

“それがあなたが持つ偉大なる真理の力です。それを巧みに提供し、己を空しくして使いなさい。そうすればあなた方は驚くべき不死身のマントをまとうことになるでしょう。”

- ・ “私は1年以上もアバターを嘲笑ってきました。私がハリー パルマーについて言った様々なことはここではふせておきますが、ともかくドナルドがコースを終えて帰ってきた時、彼を見るなり私は、問題はアバターにあったのではなく私自身にあったのだということを悟ったのです。”
- ・ “あなた方が人々に何を教えているのかはわかりませんが、ただすべてが愛と氣遣いに満ちているのを見て、私も是非とも知りたくなったのです。”

アバターの世界的拡大には一つの独特な面があります。それは有効な精神的技術と、良く管理され、良く訓練された事業家のネットワークとの結合です。このまれな組み合わせが、精神的な教えは慈善的に与えられなければならないという固定観念の枠を取り払いました。アバターには托鉢はありません。この新しいアプローチは、ハリー パルマーの哲学を反映しています。すなわち良い仕事(人類愛的努力)と繁栄は互いに相従うということです。誰が何と言おうと、これは確かにそうなっているのです。



“あなたがやっていることの価値を見いだせずにいる人には、いつも彼らの差し出したものを敬意を持って返してあげなさい。こうしてあなたは教えたくなのに教えることを避けることができます。誰もあなたの正直さをとがめだてすることはできません。そして、それが彼ら自身の正直さをもう一度見直させることになるかもしれません。

“既存の秩序に調和する行動をしなさい。

“集団意識の最も高い理想を顕しなさい。そうすれば疑いは支持に変わでしょう。

“あなた方の理解と真理を分かち合しましょう。そうすれば彼らはあなたが必要としているよりもっと、もっと多くの支持を与えてくれるとともに、それが彼らにとっての特権であり、さらには最大の報酬であることがわかるでしょう。

“あなた方の行く手には莫大な富と力が保証されています。なぜなら意味のない外面的な満足を求める衝動は、本当は役に立たない信念の繁栄であって、より低い意識に巻き込むだけだということをあなた方は認識しているからです。

“あなた方の人生の昼間の光と夜の夢の光に、照らし出されたものからあなたが学ぶことは、あなた方の最も強力な薬、最も利口な將軍、最も賢い助言者となるでしょう。

“あなた方が創造する豊かさを、人類が自己実現することを助け、加速させるために使いなさい。アバターを創造しなさい……学ぶことを楽しみなさい。

“星を見たら思い出してください、私があなたに愛を送っていることを。”

1987年4月2日
スターズエッジ社にて
ハリー パルマー



マスターコース

マスターコースは9日間かかります。これは時間を忘れて過ごす特別な期間です。このコースの構成と練習は、深く埋もれている問題を露出させます。それらは最初のうちは非常に圧倒的で耐えられないように見えるでしょう。けれども何度かやっているうちに自分自身がおかしくて心から笑い出すようになるでしょう。一週間経つ頃にはいくつかの生涯を過ごしたような気持ちになることでしょう。

マスターコース（アバター教材第四部）は舞台裏の事柄まで含んでいます。アバターコースでぶつかるいろいろな現象やその成りゆきを、全く新しい角度から検討します。

連続して行う三回のイニシエーションセッションと、数時間にわたるしつこいアイデンティティ滑降の後には、自分の名前さえ思い出すのも難しいひとときを過ごすこともあります。ともかくアバターの確実性、そして源である気づきの無限にして永遠な拡がりに対して絶対の確信を持つに至ります。

その他の期待される結果

透明なアイデンティティの構造を認識し、それを消滅させる能力

意識を創造の外へもっていく能力

抵抗している創造をそれと認識し、処理する能力

アバター イニシエーションを立派にやり抜く能力

- ・ “私はついに私の名前に答える無限の存在に出会ったのです。”
- ・ “私の魂が今までずっと私を横から肘で突っついてたのだと気付きました。 駈り立てられた闘争とそれに力ついてすべて放棄してしまうことが、人間として期待できるすべてだという信念を受け入れてはいけないよといいながら。”
- ・ “気づきと共に、そして自ら選択しながら生きる時、人生はもっと易しく、もっと麗しく、もっと軽やかになります。”
- ・ “ついに私の人生に現れたこの安らぎよ”
- ・ “私は50以上のワークショップをやってみました。 3回のアバターコースを含めて。しかしこれが、これこそがまさに私のコースでした。私は自分が今までずっとその中にこもっていたあるものの外へ出ることができたのです。”



マスターコースの教材より

第一編：舞台裏

個人の力と目標とはどんな関係にあるのか。
落胆の原因、またその克服方法は何か。
深刻な状況をどのように扱うか。
あらゆるゲームや事業の要素は何か。

第二編：アバターコースの実施

アバターコースの成功を妨害するものは何か。
あらゆる困難のもとになっているものは何か。
ストレスの原因は何か。
感じることを止め、考え始めるのは何によるのか。

第三編：スターズエッジ社

スターズエッジ社はどのように運営され、その成功のわけは何か。
アバターコース実施のための必要条件は何か。
新しい創造を既存の創造の中に導入する方法は。
アバターコース実施に対する評価基準は何か。

第四編：覚醒

何かを消滅させようとするとき何が起るか。
真理とは何か。
しつこい塊の解剖学。
自分の創造能力を自ら制限することになる原因は何か。

第五編：マスターの臨在

創造力を引き出すための最も強力なテクニックは何か。
ある現実を変えることができるかどうかを決めるものは何か。
アイデンティティの型をどうやって変えるか。
意識として存在することが不可能なわけは何か。

- ・ “私たちは生命の波、いつも今この瞬間にあり、一滴、一滴互いに不思議なほどにとけあって、後ろには歴史の足跡が、前には可能性があるのです。”
- ・ “心が互いにいだき合い、愛し合うことを知っています。そしてこの内なる状態が言葉で言い表せないことも。”
- ・ “アバターコースを行うことは、生の真髄と踊りを踊るようなものです。”



ハリーより

将来のマスターたちへ

マスターコースは、人生に熟達する (mastery) ためのコースです。つまり、あなたが自己限定の殻を脱いで、この世界にいかなる不調和も混乱も創り出すことなく、人々や物事に関わっていけるようになるというわけです。もしかしたらあなたは、人々に、そして社会に調和と落ちついた平和な状態をもたらすような道に至るかもしれません、

人生の熟達 (mastery of life) とは、隔絶された山の頂上で成就されるようなものではないのです。…それは人生の放棄です。

熟達は人生の直中で起こります。それは喧噪の上に浮かび上がることです。逃避ではなく、すべてを円満に鎮めることなのです。

熟達とは、経験から得た知恵を応用することです。あなたはこの知恵を運命的な出会いによって、また幾生にもわたる試行錯誤によって、あるいは道を知る人の導きのもとで学ぶことによって、得ることができます。

アバターコースを終えた人が皆、マスターコースに進んでいくようにと、今までずっと私はそう思い続けてきました。アバターコースはマスターコースへの入口なのです。

アバターコースの第1, 2, 3部を立派に終了し、誰が、何を、なぜ、どこで、いつ、そしてどのように創造しているのかについて、よりひろく観るようになり、それを自分のものにした受講生が「ありがとう。これで十分です。」といいながら、そこで止めてしまうのを見ると、私は少し妙な気がします。それはちょうど誰かとても良い治療を受けていた人が、病気が治り始めたのでその治療を中断してしまう、あるいは真つ暗な洞窟の中で光を求めてやっと入口まで来たのに、太陽を見ると再び暗闇の中に戻っていくのに似ています。おそらくこれは自己信頼の問題なのでしょう。あるいは自分はそれに値しないとみなしたりすることがあるかもしれません。あなたはこの矛盾に気がつきますか。

もちろん私たちは、受講生が結果的に失望するという非常にまれな場合（現在のアバターコースの質的水準からみて、それこそ非常にまれなのですが）のことを考慮しなければならず、失望するようなことを二度とやろうとしないのは当然のことだとみな



ければなりません。
にもかかわらずこの問題はもう一度良く見てみる価値があります。アバターたちは、失望が一つのセカンダリーであることを知っています。いったいなぜ失望するのでしょうか。この疑問に答えるためには、何が期待されていたのかを知る必要があります。プライマリーは何だったのでしょうか。その受講生が自らそれを手にしないようにしたわけは？もしもその人が自分自身の生きた教えから逃げ出すことを期待していたのなら、あるいはアバターを終えた後で、罪の意識や良心の呵責を感じることなしに周囲の人々を支配し、服従させ、搾取することを期待していたのなら、私たちはその人が失望したことに満足するでしょう。ええ、実際おかしくてたまらないかもしれません。なぜ？それは源を探し求めているエゴであって、真の自己はまだ見つけれないままです。ただそのままにしておきましょう。そのうち直に、時には何週間か後に、あるいは何度か生まれ変わった後に、あるマスターが、もしかするとあなたが、その人に復習の機会を与えて、抵抗し続け、守り続けた限定の最後の何層かをなんとなく消し去れるようにすることでしょう。その時には、あなたもアバターコースをやっているかもしれないし、その人もあじわい愛でながらマスターになる道へと歩んでいるかもしれません。

この宇宙には言葉にすることのできる真理があまりありません。そのうち私が好きなものの一つがくわたしはいる。ここ。あなたとともにです。これはひとつの基本的な現実、（ポーカーでいえば）この宇宙の中で自分に配られた札に対しての賭金です。この真理に何かを追加していくことによって、賭金が大きくなるのです。

1950年代、アメリカでゴーマ シェイヴという名前のひげクリームを売る会社がありました。その会社はおもしろい広告看板で有名になりました。高速道路沿いに一定間隔をおいて看板を何枚も立てるのです。看板にはそれぞれ文句が書いてあります。たとえば一枚目には“ダイナは彼が”，少し進むと“気

に入らなかったけど”，もう少し行くと“もし彼がひげさえ剃っていれば”，さらに行くと“ダイナ マイト（might一気に入ったかもしれないのに）！”そして最後はいつも“ボーマ シェイヴ ひげそりクリーム”で締めくくられるのです。

このくわたしはいる ここ 今 あなたとともに>は、アバターの教材に沿って進んで行くに従って、真理として経験していきます。あなたが最初に経験する看板は、くわたしはいる>です。少し行くと次元を超えた自分自身の存在を経験します。つまり<ここ>、空間を含んだ空間です。そして第三部の終わりが近づいてくるとく今>、すなわち永遠を経験します。このように、アバターコースを終えた人は、くわたしはいる ここ 今>との深い出会いをもっていきます。目覚め、悟ることです。これは自己の悟りです。人は至福の内にこの状態で留まることもできます。なぜ？それが神性の唯一、究極の源、あらゆる生を包み込むくわたしは唯一絶対なるもの（one）ここ 今>を、そっと見せてくれるからです。悟った自己とは神性を予示するものです。

<今>という看板を過ぎたところ、アバター第三部を終えたところで、思いもよらなかった死のカーブに至ります。多くの人が道をそれて、結局“すべてが私だ”という自己矛盾の沼に足を突っ込むのもここです。これは迷信の沼です。ここではすべてが合理的に説明されてしまいます。たとえば、すべては神の意志なのだ、あるいは……あるいは……。

エゴは自らを“悟った私”，つまり、他の皆がすべて私の一部である私、として創りだして歓喜しています。

この死のカーブを偽装する小さな知性の落とし穴について、私の話が少々大げさになっても勘弁してください。あなただけではないのです。私も同じようにそこで沼の中にひざまで浸かっていたのです。<私はいらぬ ここ 今>の中にはまりこみ、神様かどこかのグルがこの世を救ってくれることを願いながら、いっそもう一度何も知らない時にもどれたらと思う瞬間の一つでしょう。つらいことには、あなたは真理の一部<私はいらぬ ここ 今>を知っているのに、曲がり角に気付かず、次に続く看板くあなたとともに>を目にする前に道を逸れてしまったのです。

これがマスターコースの核心となる鍵です。<私>というアクセルから足をはなし、<私たち>というブレーキを踏まなければならないのです。ここで自らの自己限定の殻を破ってその先に至ることを学ぶでしょう。そしてすべてを包み込む神性の唯一について私たちが何かともに語ろうとするならばまず先に必ず経験しなければならない、目の前の現実を扱うことも学ぶでしょう。私たちは神性を経験する前に、<すべて>を創り出す必要があります。

あるアバターたちは、自分がスリップして道から転げ落ち始めたのを知りつつも、マスターコースに進もうとはしません。これはマスターコースの目的についてのある誤解に起因しているのです。大抵彼らは、「ああ、私はアバターを教えることには関心がないんです」とか、「私はもうこれ以上自分の精神的成長には興味がないんです」とか言うのです。（これは良い兆候ではありません。なぜなら、自然はなんであれ成長しないものをそのまま放っておきもしないからです。ですから誰でも前進しなければならぬのです。そうでなければ、来た道を何度でも繰り返し、繰り返しまた来なければなりません。）

ですから、ええ、そうなのです！ マスターコースは、ある意味では他の人にアバターを教えることに関するコースです。そして、より広範囲な責任を引き受けることについてのコースでもあります。また安楽という罫を突き破ることについてのコースもあります。次の層を見つけてその層をはがすように、あなた自身がさらに開いていくためのものです。誰もあなたに仕事をやめて、フルタイムでアバターコースをやれ、と言っているわけではありません。それはあなたの決定によるものです。私たちはただ、あなた自身の意識の進化の次の段階に進むことによって、全体を励まし、培う力になってほしいとお願いしているだけです。そうなのです。私たちはあなたにマスターコースをやるよう、けしかけているのです。なぜでしょうか？

それは、マスターコースをすれば新しい自分が目覚めるからです。より大きな自分、よりリラックスし、より忍耐強い自分、より包容力のある自分がです。それは他の人の存在と協力なしには、見つけることも、経験することも、正しく理解することもできない喜びに満ちあふれた自分です。これが第四部（マスターコース）であなたが次の看板＜あなたとともに＞の前を通り過ぎながら経験することです。

これは自分の利益だけを考えているエゴからみれば、進化の階段をさらに二段、覚醒を求める悟った自己からみれば、さらに一段登ることです。他の人々を、社会を、全ての生命を広く思う、より高い自分です。喜びに満ちて、永遠なる自分、世界を形づくることのできる自分です。

マスターコースはひとつの挑戦です。あなたは勇敢である必要があります。あなたは信じなければなりません。かなりの冒険です。あなたはその能力を最大限に発揮しなければなりません。たいへんなことです。無防備な状態にならなければなりません。あなたが、あなただと思ってきたあなたを手放さなければなりません。あなたは、本当に正直にあなたそのものにならなければなりません。これが死のカーブを通り抜ける唯一の道です。

あなたがうまく冒険に挑み、その報いが得られるようにお手伝いのできる非常に経験豊かなスターズエッジ社のトレーナーたちがひかえています。あなたはく私はいる。ここ。今。あなたとともに＞という真理を知り、そのように生きようとする人々の地球規模のネットワークの仲間入りをするのです。

ついでですが、死のカーブを過ぎてさらに進むと、その次の看板が見えるようです。＜私たちはできる……＞

マスターコースを 受ける理由は？

“より進んだやり方を求めて……”

“自分の理解を深めたくて……”

“自分自身の成長のために……”

“疑問を持っていたので……”

“マスターたちは教材をずっと良く理解しているようなので…”

“自らのアバターの経験を深めるために……”

“自分と同じように感じている人々とつながりを持ちたくて…”

“アバターを他の人々と分かち合いたくて……”

“このコースがすばらしかったと聞いたので…”

“自分のより深いレベルを経験したくて……”

“他の人々の成長のための触媒になりたいくて……”

“マスターとしての視点を持ちたくて……”



正しいプライマリーをつくる

または

私が1月のマスターコースに

二日も早く行った理由

マスターコースの話をきいてすぐに私は、“いつか私もやりたい”というプライマリーをつくりました。

ええ、ご想像のとおり、何も起こりませんでした。18カ月が過ぎても私はまだそのプライマリーを持ち続けていました。でもただ持っていただけなんです。セカンダリーは何もありませんでした。といって何も創造されもしませんでした。私がアブラに電話をかけてその話をすると、彼女は安全な、つまり何かをかき乱すことのないプライマリーをつくることについて、ある指摘をしてくれました。

受話器を置くと私はプライマリーを創り替えました。“私はできるだけ早くマスターコースに行く”。

おやまあ、それに刺激されて四方八方からセカンダリーが出てくるではありませんか。時間が無い、そんな余裕はない、やらなきゃならないことが山ほどある、飛行機がよく落ちるなあ、いつも誰かが私を呼んでいる、ボイラーの水が漏れだした、誰かが私の車のバンパーを壊したんだ、まだクリスマススの準備もしてないじゃないか……ついには夢の中までもセカンダリーが出てきました。私はまたアブラに電話をかけ、急にいろいろなことが降って湧いてきたので、私が1月のマスターコースに行くという話は一度忘れてもらわなくてはならなくなったと言いました。「本当なの？」彼女は言いました。「どんなプライマリーがそうさせたのかしら？」

「ええ、私にもよくわかりません」と嘘をつきました。

そして「私の名前を3月のコースの参加者名簿に移してください。それまでにはどうにかしてみますから」と言ったのです。彼女が電話越しに肩をすくめるのが感じられました。それでも「いいわ、じゃあその時会いましょうね」と明るく愉快的な彼女の声が返ってきました。

ここで出てきたものの全てがセカンダリーだということに気付くと同時に、私はそれを消滅させる方法も知っているのだということも思い出しました。そして“私は3月にマスターコースに行く”とプライマリーしてみました。何事も起こりません。あくびをひとつ。そしてもう一度。“私は3月のマスターコースに行く”。これは実はセカンダリーじゃないか！ 笑い出してしまいました。そうじゃないか、プライマリーは“できるだけ早く行く”だったんだ。



登 録 手 続 き

アバター・マスター・コースの期間は9日間で受講料はUS\$3310です。受講するためにはアバター・コースを修了し、あなたのアバター・マスターからの推薦、またはスターズ・エッジ・トレーナーからの招待を受けていることが必要です。日程や開催地についてはwww.AvatarMasterCourse.comをご覧ください。オンラインの登録用紙に記入するか、スターズ・エッジ社に連絡して登録用紙を請求してください。電話407-788-3090、ファックス407-321-574-4019、avatar@avatarhq.com。



アバター®とスターズエッジ・インターナショナル®は、スターズエッジ・インターナショナルの登録商標です。版權 © 2012 すべての権利を保有している。



Avatar®

Japanese 10/19



Star's Edge International

237 North Westmonte Drive
Altamonte Springs, Florida 32714

tel: 407-788-3090

fax: 321-574-4019

e-mail: avatar@avatarhq.com

www.AvatarMasterCourse.com

